

◎礼拝説教：2020年4月5日

◎説教者：中村準一 牧師

◎タイトル：忍耐も、神の御業

◎今日の聖書：創世記40章1-23節

1これらの事の後、エジプト王の給仕役と料理役とがその主君エジプト王に罪を犯した。2パロはふたりの役人、すなわち給仕役の長と料理役の長に向かって憤り、3侍衛長の家の監禁所、すなわちヨセフがつながれている獄屋に入れた。4侍衛長はヨセフに命じて彼らと共におらせたので、ヨセフは彼らに仕えた。こうして彼らは監禁所で幾日かを過ごした。5さて獄屋につながれたエジプト王の給仕役と料理役のふたりは一夜のうちにそれぞれ意味のある夢を見た。6ヨセフが朝、彼らのところへ行って見ると、彼らは悲しみに沈んでいた。7そこでヨセフは自分と一緒に主人の家の監禁所にいるパロの役人たちに尋ねて言った、「どうして、きょう、あなたがたの顔色が悪いのですか」。8彼らは言った、「わたしたちは夢を見ましたが、解いてくれる者がいません」。ヨセフは彼らに言った、「解くことは神によるものではありませんか。どうぞ、わたしに話してください」。9給仕役の長はその夢をヨセフに話して言った、「わたしが見た夢で、わたしの前に一本のぶどうの木がありました。10そのぶどうの木に三つの枝があって、芽を出し、花が咲き、ぶどうのふさが熟しました。11時にわたしの手に、パロの杯があって、わたしはそのぶどうを取り、それをパロの杯にしぼり、その杯をパロの手にささげました」。12ヨセフは言った、「その解き明かしはこうです。三つの枝は三日です。13今から三日のうちにパロはあなたの頭を上げて、あなたを元の役目に返すでしょう。あなたはさきに給仕役だった時にされたように、パロの手に杯をささげられるでしょう。14それで、あなたがしあわせになられたら、わたしを覚えていて、どうかわたしに恵みを施し、わたしの事をパロに話して、この家からわたしを出してください。15わたしは、実はヘブルびとの地からさらわれてきた者です。またここでもわたしは地下の獄屋に入れられるような事はしなかったのです」。16料理役の長はその解き明かしの良かったのを見て、ヨセフに言った、「わたしも夢を見たが、白いパンのかごが三つ、わたしの頭の上にあった。17一番上のかごには料理役がパロのために作ったさまざまな食物があったが、鳥がわたしの頭の上のかごからそれを食べていた」。18ヨセフは答えて言った、「その解き明かしはこうです。三つのかごは三日です。19今から三日のうちにパロはあなたの頭を上げ離して、あなたを木に掛けるでしょう。そして鳥があなたの肉を食い取るでしょう」。20さて三日目はパロの誕生日であったので、パロはすべての家来のためにふるまいを設け、家来のうちの給仕役の長の頭と、料理役の長の頭を上げた。21すなわちパロは給仕役の長を給仕役の職に返したので、彼はパロの手に杯をささげた。22しかしパロは料理役の長を木に掛けた。ヨセフが彼らに解き明かしたとおりである。23ところが、給仕役の長はヨセフを思い出さず、忘れてしまった。

◎宣教

ヨセフがエジプトの牢獄にいたとき、二人の高官が罪を犯して、おなじ牢に入れられた。献酌官と調理官であった。彼らはある夜、二人とも意味深い夢を見たが、夢の意味が分からなくて、怯えていた。ヨセフは二人に言った、「私が夢の意味を教えてあげましょう。どんな夢ですか。」すると献酌官が自分の夢を話した。「一本のぶどうの木に、三つの枝があって、ぶどうの房できました。私はその房を取り、王の盃に絞って捧げました。」ヨセフは答えた。「三つの枝は三日です。あなたは三日後に赦されて、再び王の手に杯を奉げる者となるでしょう。」その解き明かしが良かったので、調理官も自分の夢を話した。「私の頭の上に三つの籠があって、一番上の籠には料理役が作った食物がありましたが、鳥が来てその食物を食べていました。」ヨセフは答えた。三つの籠は三日です。あなたは三日以内に、木に吊るされて、鳥が来て、あなたの死体を食べるでしょう。」そして、ヨセフが解き明かしたように、二人は自分が見た夢の通りになったのだった。ヨセフは献酌官に頼んだ。「あなたが赦されたら、エジプト王に、私のことを話してください。私は何の罪も犯さなかったのに、牢に入れられたのです。」ところが、献酌官は牢を出た後、ヨセフのことをすっかり忘れてしまったので、ヨセフはさらに二年間も牢に入れられていた。この二年間は無駄な二年間だったのだろうか。そうではなかった。ヨセフが将来、エジプトの国で大切な仕事を成し遂げるための準備となったのだった。神の御手の中では、何事も無駄にはならないのである。